

## 2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 大津市立志賀中学校 ] 担当教諭名 [ 堤 祥晃 ] ( 美術部 14名 )

交流相手国 [ メキシコ ]

海外学校名 [ PTC Cumbres ] 担当教諭名 [ Genoveva Cardenas Montenegro ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	クラブ活動	自己紹介	4
	クラブ活動	テーマ学習、交流	8
	クラブ活動	壁画制作	16

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	United for World Peace
絵に込めたメッセージ	平和を願う気持ちを、お互いの国の文化を交えながら描きました。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
生徒は、当初メキシコについてほとんど知らなかったが、活動を通してメキシコの文化や地理に興味を持った様子であった。 共同学習、共同制作を通して、海外との交流を楽しむことができた。	生徒(教師も)の英語力が低く、英語での交流に手間取ってしまった。特にスカイプではALTの助けがなければ全くコミュニケーションがとれなかった。 お互いにメールやフォーラムの返事がすぐに返せないことが多く、スケジュール通りに進めることが難しかった。

### ■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
取り組みの様子を模造紙にまとめ、廊下の掲示板上に展示した。 全校集会で完成作品を披露した。	生徒や先生方から作品や取り組みの内容を褒めていただいた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	自己紹介を考え、英語に翻訳してフォーラムにアップする。	時間はかかったが、翻訳ソフトのおかげでなんとか全員が紹介文を書けた。各自が嬉しそうに ALT にチェックしてもらいに行っていた。	部活動
情報収集	10月	日本の文化について、英語で紹介文を作り、フォーラムにアップする。メキシコの文化について調べる。	自己紹介に比べて文章が複雑になり、予想以上に難航した様子であった。日本の文化の中の何を紹介するかで悩んでいる生徒もいた。	部活動
テーマ検討	11月	スカイプで交流し、お互いの文化紹介の後、テーマについて話し合う。	なかなか上手く会話ができなかったが、生徒は楽しんで交流していた。時差の関係で時間にゆとりがなく、十分な交流にはならなかった。	部活動
制作	12月	全員が1人1点下絵を考える。投票で原案を選び、みんなで修正する。下絵を拡大して描き、着色する。	投票の後、選ばれた原案を元にみんなが意見を出し合って最終案を考えていた。拡大して描く、塗る作業では分担しながら協力して取り組めた。	部活動
鑑賞	3月	全員で完成した作品を囲んで鑑賞会を行う。	予想以上の出来栄に感動した様子であった。描かれている物について、生徒同士で色々と話をしていた。	部活動

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:あまり重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	C	4	自国の文化を伝えるために何を描くかを考える過程で、日本の文化の特徴や良さについて認識することができた。
異文化の理解	B	4	自分達で調べたことや、メキシコの学生が制作したビデオを見て、今までなじみのなかったメキシコの文化を理解できた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	2	スカイプの会議では、ほとんどの生徒がうまく話すことができなかった。事前にもっと会話の練習が必要であった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	C	2	情報収集を安易にインターネットに頼ってしまい、表面的な内容になってしまった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	3	制作を通して他学年の部員とも交流し協力できた。スカイプ会議では十分な交流ができなかった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	壁画の制作や校内展示物の制作では、役割分担をして、それぞれが自分の役割をしっかりと果たすことができた。
学習を追究する意欲	B	3	意欲的に活動していた生徒がいた反面、割り当てられたことをこなすだけの受け身な姿勢の生徒もいた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	構図や配色を含めて、下絵の段階からかなりの工夫ができた。着色では、特にグラデーションに力を入れていた。
作品を鑑賞する力	B	4	全体の構成や描かれている細部について、生徒同士が絵を見ながら様々な会話をしていた。